



平成 25 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ナイガイ  
代表者名 取締役社長 泉 潔  
(コード番号：8013 東証第一部)  
問合せ先 取締役管理部門担当 市原 聡  
(TEL 03-5822-3810)

### 「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消についてのお知らせ

当社は、本日公表の「平成 25 年 1 月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、長期に亘る業績低迷から脱するべく、平成 20 年 3 月に抜本的な事業再編を決議し、レディースウェア事業及びチルドレンウェア・ゴルフウェア事業から撤退することで、レッグウェア専門の事業会社として再生を図るべく、希望退職を含めた経営合理化策並びにレッグウェア事業を中心とするグループ成長戦略に取組み、主力卸売事業の黒字化を確実に達成させることに注力してまいりました。

一方、通信販売事業につきましては、前連結会計年度に、テレビ通販事業の拡大にともなう在庫リスクの急増で一転して営業損失計上に至った株式会社ナイガイ・イムについて、抜本的な事業構造改革による収支バランスの改善を行い、早期に業績を回復させ、連結での安定黒字化と営業キャッシュ・フローの黒字化実現を目指してまいりました。

その結果、前連結会計年度（平成 24 年 1 月期）に続き、当連結会計年度につきましても、卸売事業は安定した営業利益を計上し、連結でも営業利益計上に着地し、経常利益、当期純利益は増益とすることができました。

通信販売事業につきましては、当連結会計年度も営業損失の計上となりましたが、これは主にテレビ通販を主体とする株式会社ナイガイ・イムの旧在庫の処分損によるものであり、現在進捗中のテレビ通販の適正規模化と販管費削減等による収益構造改革、インターネット通販の拡大による増収増益に向けた施策は、概ね順調に進んでおり、今後の通信販売事業の正常化に一定の目途が立ったものと判断しております。

また、連結営業キャッシュ・フローにつきましても、営業利益の計上、仕入及び在庫のコントロール、合理化施策等による販管費削減の結果、プラスに転じたことから今後の資金ポジションに問題はないと判断しております。

上記に加え、本年度より第 2 次中期経営計画を着実に推し進めることで、さらなる業績の安定化が可能と見込んでいることから、現時点で継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しないものと判断し、平成 25 年 1 月期決算短信においては「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を行わないことといたしました。

株主をはじめとするステークホルダーの皆様には大変ご心配をおかけしましたが、今後ともグループ企業一丸となり持続的な成長戦略をベースにさらなる企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上